



株主の皆さまへ

≫第91_{期≪}

中間(第2四半期)報告書 平成26年4月1日 ▶ 平成26年9月30日



Contents

| 連結決算のポイント | 1 |
|-----------------------|---|
| ごあいさつ | 2 |
| 財務ハイライト | 3 |
| トピックス | 5 |
| 会社の概要及び企業集団・役員・株式の状況… | 6 |

井関農機構式会社

連結決算のポイント 第91期中間期(第2四半期)

売上高 前年同期比 82,450_{百万円}



▶うち国内

前年同期比

71,470百万円

2,059百万円(3.0%)增



▶うち海外

10,980百万円

前年同期比 2,105百万円(16.1%)減



営業利益

1,048百万円

前年同期比 3,118百万円(74.8%)減



経常利益

1,485百万円





四半期純利益

1,341_{百万円}

前年同期比 1,827百万円(57.7%)減



売上高

国内: 農機の売上は前年並みでしたが、施設工事において大型物件の完工があったこともあり、増加。

海外:欧州市場において需要の回復が見られましたが、中国市場において井関農機(常州) 有限公司が連結対象から外れたこともあり、減少。

営業利益・経常利益・四半期純利益

営 業 利 益:国内農機市場での粗利益の減少、人件

費等の販管費の増加に加え、井関農機 (常州) 有限公司が連結対象から外れ

たこともあり、減少。

経 常 利 益: 為替差益の減少もあり、減少。

四半期純利益:フランス販売代理店の株式取得(子会

社化)による負ののれんの計上などが

あったものの、減少。

| 国内売上高の内訳(億円) | | | 海外売上高の内訳(億円) | | | | | |
|--------------|-----------------------|-----------------------|--------------|-----|-------|-----------------------|-----------------------|-----|
| | 26/3期 第2四半期 累 計 | 27/3期 第2四半期 累 計 | 増減 | | | 26/3期 第2四半期 累 計 | 27/3期 第2四半期 累 計 | 増減 |
| 農業機械 | 345 | 345 | 0 | 北 | 米 | 49 | 47 | △2 |
| 作 業 機 ・ 部 品 | 186 | 182 | △4 | 欧 | 州 | 19 | 38 | +19 |
| 施設工事 | 22 | 40 | +18 | 中 | 国 | 47 | 7 | △40 |
| その他農業関連 | 141 | 147 | +6 | その・ | 他アジア | 5 | 3 | △2 |
| | | | | 豪 | 州 他 | 2 | 4 | +2 |
| 農業関連事業計 | 694 | 714 | +20 | 製 | 品 計 | 122 | 99 | △23 |
| その他事業 | 0 | _ | 0 | 補修部 | 品・その他 | 9 | 11 | +2 |
| 国 内 計 | 694 | 714 | +20 | 海 | 外 計 | 131 | 110 | △21 |

ごあいさつ

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚 く御礼申し上げます。

第91期中間期(第2四半期)の概況をとりまとめましたので、ご報告申し上げます。

株主の皆様におかれましては、引き続き一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成26年12月



取締役社長 木村 典之

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動の影響が引き続き見られ、消費の低迷、企業の先行き経済に対する慎重な姿勢等、全体としては不透明な状況が続きました。

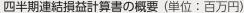
また当社グループを取り巻く市場環境につきましても、国内農業においては、コメの余剰感から米価が下落傾向となっており、今後農家の購買意欲に影響が出てくることが懸念される等、予断を許さない状態であります。

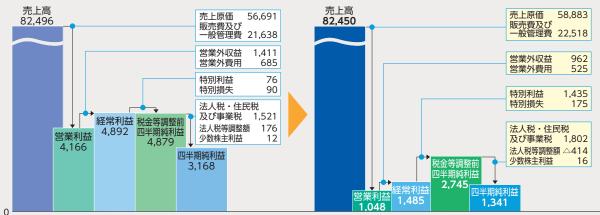
このような状況の中、当社グループは、国内においては顧客対応の充実を図り、販売量の確保に努め、また、海外においては北米欧州向けに戦略商品を投入し拡販などに努めた結果、当社グループの連結経営成績は以下のとおりとなりました。

当第2四半期連結累計期間の売上高は、前年同期比4千5百万円減少し824億5千万円(0.1%減少)となりました。国内売上高は、農機の売上は前年並みでしたが、施設工事において大型物件の完工があったこともあり、前年同期比20億5千9百万円増加し714億7千万円(3.0%増加)となりました。海外売上高は、欧州市場において需要の回復が見られましたが、中国市場において井関農機(常州)有限公司が連結対象から外れたこともあり減収となったことから、前年同期比21億5百万円減少し109億8千万円(16.1%減少)となりました。

営業利益は、国内農機市場での粗利益の減少、人件費等の販管費の増加に加え、井関農機(常州)有限公司が連結対象から外れたこともあり、前年同期比31億1千8百万円減少し10億4千8百万円(74.8%減少)となりました。経常利益は、為替差益の減少もあり前年同期比34億7百万円減少し14億8千5百万円(69.6%減少)となりました。四半期純利益は、フランス販売代理店の株式取得(子会社化)に伴い負ののれんが発生したこともあり、前年同期比18億2千7百万円減少し13億4千1百万円(57.7%減少)となりました。

財務ハイライト



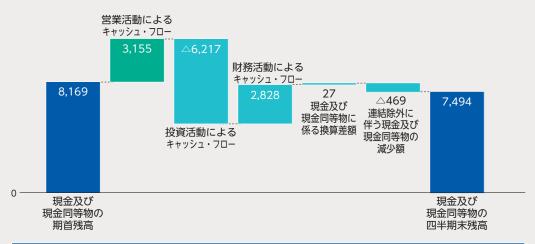


前四半期 (平成25年4月1日~平成25年9月30日) 当四半期 (平成26年4月1日~平成26年9月30日)

四半期連結貸借対照表の概要(単位:百万円)



四半期連結キャッシュ・フロー計算書の概要(単位:百万円)



当四半期 (平成26年4月1日~平成26年9月30日)

連結財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ22億5千3百万円減少し1,953億7千4百万円となりました。資産の部では、流動資産が前連結会計年度末に比べ107億1千1百万円減少し、固定資産が84億5千7百万円増加しました。主に、受取手形及び売掛金の減少119億4千万円、建物及び構築物の増加20億7千5百万円、投資その他の資産その他の増加45億1千8百万円によるものであります。負債の部は、前連結会計年度末に比べ24億6千9百万円減少し1,264億2千4百万円となりました。

主に、支払手形及び買掛金の減少42億5千7百万円、短期借入金及び長期借入金の増加17億6千2百万円によるものであります。純資産の部は、前連結会計年度末に比べ2億1千5百万円増加し689億5千万円となりました。主に、四半期純利益の計上13億4千1百万円、剰余金の配当9億1千8百万円によるものであります。

トピックス

■ グローバル戦略の本格展開

1. 井関農機(常州)と東風井関 事業統合完了(5月27日)

井関農機の技術・製品 東風汽車の 知名度・情報網・調達力



『東風汽車』との 連携強化により、 中国市場での 事業拡大と地位確立





2.フランス販売代理店『ベアル社』100%子会社化(7月22日)

フランスにおいてベアル社を子会社化し、事業展開の拡大を図り、欧州事業の 基盤強化と売上拡大を図る。



▶ ベアル社との歩み・



代理店契約当時のベアル社とベアル 1960年代: 耕運機販売 夫妻 (創業者)



初年度5千台超の管理機を出荷 1970年代:トラクタ販売開始





1980年代:芝刈機販売 (ガーデン事業参入)

■ ISEKI Dream Gallery KUMAMOTO リニューアルオープン (10月14日)

4月の松山に続いて熊本でリニューアルオープン。 株式会社井関熊本製造所では、主にコンバインなどを生産し ております。





会社の概要及び企業集団

(平成26年9月30日現在)

■会社概要

社 名 井関農機株式会社

本 社 愛媛県松山市馬木町700番地

本社事務所 東京都荒川区西日暮里5丁目3番14号

創 立 大正15年8月

資 本 金 233億4,474万円

事業内容 当社はつぎの製品の製造および販売を主要な事業内

容としております。

整地用機械 トラクタ、耕うん機、乗用管理機、芝刈機

栽培用機械 田植機、野菜移植機

収穫用機械 コンバイン、バインダ、ハーベスタ

調製用機械 籾すり機、乾燥機、精米機、計量選別機、野菜収穫調製機

そ の 他 作業機、補修用部品、農業用施設

主要な事業所

①当社

| 名 称 | 所 在 地 | | |
|---------------|------------|--|--|
| 本社 | 愛媛県松山市 | | |
| 本社事務所 | 東京都荒川区 | | |
| 砥部事業所 | 愛媛県伊予郡 | | |
| 熊本事業所 | 熊本県上益城郡 | | |
| 技術ソリューションセンター | 茨城県つくばみらい市 | | |
| 中央研修所 | 茨城県つくばみらい市 | | |
| 茨城センター | 茨城県稲敷郡 | | |
| 関西事業所 (インプル) | 滋賀県近江八幡市 | | |

②子会社

| 名 称 | 所 在 地 |
|-------------|---------|
| 株式会社ヰセキ北海道 | 北海道岩見沢市 |
| 株式会社ヰセキ東北 | 宮城県岩沼市 |
| 株式会社ヰセキ関東 | 茨城県稲敷郡 |
| 群馬ヰセキ販売株式会社 | 群馬県前橋市 |
| 株式会社ヰセキ信越 | 新潟県新潟市 |
| 株式会社ヰセキ北陸 | 石川県金沢市 |

| 名 称 | 所 在 地 |
|----------------------|-----------------------|
| 株式会社ヰセキ東海 | 愛知県安城市 |
| 三重ヰセキ販売株式会社 | 三重県津市 |
| 株式会社ヰセキ関西 | 兵庫県加古川市 |
| 株式会社ヰセキ中国 | 広島県東広島市 |
| 株式会社ヰセキ四国 | 愛媛県伊予市 |
| 株式会社ヰセキ九州 | 熊本県上益城郡 |
| 株式会社ISEKIアグリ | 東京都荒川区 |
| 株式会社井関松山製造所 | 愛媛県松山市 |
| 株式会社井関熊本製造所 | 熊本県上益城郡 |
| 株式会社井関新潟製造所 | 新潟県三条市 |
| 株式会社井関邦栄製造所 | 愛媛県松山市 |
| PT. ISEKI INDONESIA | インドネシア 東ジャワ州 ルンバン市 |
| Yvan Beal S.A.S. | フランス ピュイドドーム県 オービエール市 |
| 株式会社井関松山ファクトリー | 愛媛県松山市 |
| 株式会社井関植木製作所 | 熊本県熊本市 |
| 株式会社井関重信製作所 | 愛媛県東温市 |
| 北日本床土株式会社 | 北海道上川郡 |
| 株式会社井関物流 | 愛媛県松山市 |
| 株式会社ISEKIトータルライフサービス | 東京都荒川区 |
| | |

- (注) 1.井関農機(常州)有限公司は、平成26年5月27日付で持分法適用関連会社である東風井関 農業機械有限公司に事業統合されております。
 - 2.平成26年7月22日付で、Yvan Beal S.A.S.の株式を100%保有する株主YB Holding S.A.S.の全株式を取得し連結子会社にしております。尚、両社は社名変更を予定しております。

役員(平成26年9月30日現在)

| 取締役会長(代表取締役) | 南级 | 建治 | 取: | 締 | 役 | 新 | 真司 |
|--------------|------|----|----|----|---|----|----|
| 取締役社長(代表取締役) | 木村 身 | 典之 | 取: | 締 | 役 | 岩﨑 | 淳 |
| 専務取締役(代表取締役) | 多田 | 進 | 常勤 | 監査 | 役 | 亀川 | 正晴 |
| 専務取締役(代表取締役) | 菊池 日 | 召夫 | 常勤 | 監査 | 役 | 槻谷 | 俊文 |
| 専務取締役(代表取締役) | 木下榮- | 一郎 | 常勤 | 監査 | 役 | 木元 | 誠剛 |
| 常務取締役 | 真木 | 腴 | 常勤 | 監査 | 役 | 岡 | 厚志 |
| 常務取締役 | 豊田信 | 赴之 | 監 | 査 | 役 | 田中 | 省二 |
| 常務取締役 | 鎌田 | 寛 | | | | | |

- (注) 1.取締役岩崎淳氏は、会社法第2条第15号に定める社外取締役であります。 なお、当社は、同氏を株式会社東京証券取引所の定めに基づく独立役員として指定し、 同取引所に届け出ております。
 - 2.常勤監査役棚谷俊文、常勤監査役木元誠剛、常勤監査役岡厚志ならびに監査役田中省二の各氏は会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。
 - なお、当社は、田中省二氏を株式会社東京証券取引所の定めに基づく独立役員として指定 し、同取引所に届け出ております。
 - 3.平成26年6月25日開催の第90期定時株主総会において、岡厚志氏は新たに監査役に選任され就任いたしました。
 - 4.平成26年6月25日開催の第90期定時株主総会終結の時をもって、安永紀雄氏は監査役を辞任いたしました。

株式の状況 (平成26年9月30日現在)

発行可能株式総数

696,037,000株

発行済株式総数

228.297.466株

(自己株式1,552,470株を除く)

単元株式数

1,000株

株主数

28.376名

■ 大株主(上位10名)

| 大株主の氏名 | 所有株数(千株) |
|------------------|----------|
| 株式会社みずほ銀行 | 10,708 |
| 三井住友信託銀行株式会社 | 9,600 |
| 農林中央金庫 | 8,687 |
| ヰセキ株式保有会 | 6,020 |
| 株式会社伊予銀行 | 5,800 |
| 損害保険ジャパン日本興亜株式会社 | 4,888 |
| 三井住友海上火災保険株式会社 | 4,193 |
| 共栄火災海上保険株式会社 | 3,527 |
| 井関営業・販社グループ社員持株会 | 3,520 |
| 日本梱包運輸倉庫株式会社 | 3,417 |







株主メモ 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで 定時株主総会 毎年6月下旬 準 定時株主総会・期末配当:毎年3月31日 В 株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 特別口座の 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 口座管理機関 郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 (電話照会先) 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

雷話 0120-782-031 (フリーダイヤル)

取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の全国各

支店で行っております。

・住所変更、単元未満株式の買取のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。

なお、証券会社に□座がないため特別□座が開設されました株主様は、特別 □座の□座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。



当社ホームページアドレス http://www.iseki.co.jp/